

交通安全協会だより（令和2年4月号）

～ 徳島県交通安全県民運動実施計画 ～ （交通死亡事故抑止重点運動 セーフティ5）

趣旨と目標

徳島県では、交通事故から県民を守るため、第10次徳島県交通安全計画を掲げ、「**2020年（令和2年）までに交通事故死者数を20人台前半、可能な限りゼロに近づける。**」という目標達成に向け、交通事故の現状と悲惨さを周知し、県民一人一人の交通事故防止に向けた意識を図ることが重要です。

このため、本年4月から翌年の3月31日までの1年間、県、市町村及び関係機関・団体が、相互の連携を密にし、交通死亡事故抑止重点運動（セーフティ5）として、**それぞれの実情に即した交通安全活動や広報活動を積極的に推進**することにより、交通死亡事故を抑止し「安全安心・実感とくしま」の実現を目指すものです。

昨年中の交通死亡事故の特徴

令和元年中における徳島県の交通事故は、発生件数、傷者数とも減少したものの、**死者数については41人（対前年比+10人）と増加**しました。

このうち、死者数に占める高齢者の割合が増加し、高齢運転者が関与する交通事故の割合も依然として高い傾向にあり、引き続き「高齢者の交通死亡事故対策」が重要な課題となっています。

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| ○ 高齢者の死者数 | 27人（対前年比+9人） | 全死者数の65.9% |
| ○ 四輪乗車中の死者 | 12人（対前年比-6人） | |
| ・ うちシートベルト非着用 | 3人（対前年比-7人） | |
| ・ 着用していれば助かった可能性 | 2人（対前年比-5人） | |
| ○ 飲酒運転による事故 | 4人（対前年比-3人） | |
| ○ 自転車乗車中の死者 | 8人（対前年比+4人） | |
| ○ 歩行者の死者 | 16人（対前年比+4人） | |

交通死亡事故抑止重点（セーフティ5）

- 子供と高齢者の交通事故防止
- 夜間の交通事故防止（薄暮時間帯の死亡事故抑止）
- 飲酒運転等悪質危険運転の根絶
- 全席シートベルトの正しい着用の徹底
- 自転車利用者に対する交通ルールの周知

徳島県交通安全メインタイトル（年間スローン）
ゆとりもち しわしわいかんで 阿波の道